

製品名: CASP-7 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81414**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	34.3kDa

抗原情報

遺伝子名	CASP-7
別名	MCH3; CMH-1; LICE2; CASP7; ICE-LAP3
遺伝子 ID	840.0
SwissProt ID	P55210
免疫原	大腸菌で発現したヒト CASP-7 (AA: 29-198) の精製された組み換え断片。

背景

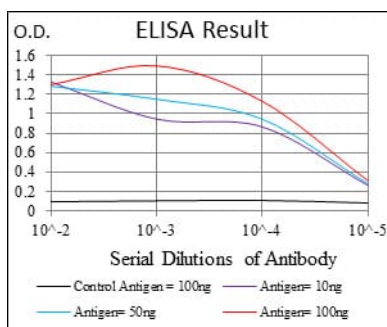
この遺伝子は、システイン-アスパラギン酸プロテアーゼ（カスパーゼ）ファミリーのメンバーをコードします。カスパーゼの連続的な活性化は、細胞アポトーシスの実行段階において中心的な役割を果たします。カスパーゼは不活性なプロ酵素として存在し、保存

されたアスパラギン酸残基においてタンパク質分解を受け、大小2つのサブユニットを生成します。これらのサブユニットは二量体を形成して活性酵素を形成します。コードされているタンパク質の前駆体はカスパーゼ 3 および 10 によって切断され、細胞死刺激によって活性化され、アポトーシスを誘導します。この遺伝子には、複数のアイソフォームをコードする選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが観察されています。

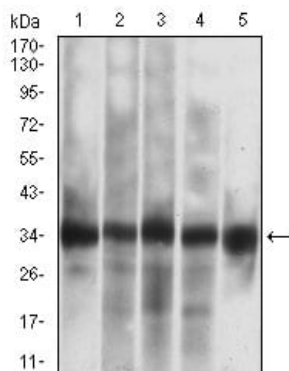
研究分野

アポトーシス

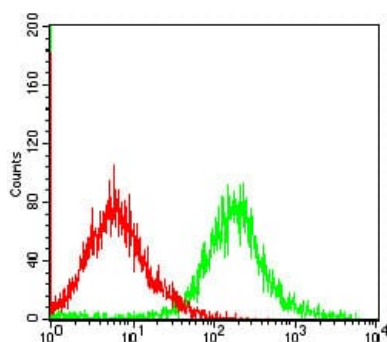
画像データ



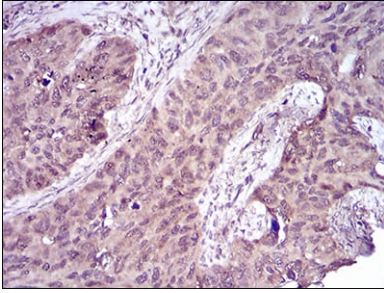
黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



Jurkat (1)、HEK293 (2)、MOLT4 (3)、MCF-7 (4)、PC-12 (5) 細胞溶解物に対する CASP-7 マウス mAb を使用したウエスタンブロット解析。



CASP-7 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した MCF-7 細胞のフローサイトメトリー分析。



CASP-7 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト子宮頸癌組織の免疫組織化学分析。